

令和5年度 市民意識調査 概要

日野市企画経営課作成





【調査対象抽出方法の変更】

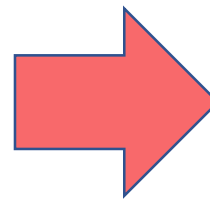
回答の男女比が同数程度になるように、年代別の人口割合で、配布数の男女比を調整

＜令和4年度＞

回答数:883名

女性:454名(51.4%)

男性:415名(47.0%)



＜令和5年度＞

回答数:886名

女性:499名(56.3%)

男性:377名(42.6%)

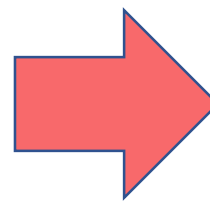
【調査項目の変更】

R4年度実施ベースの設問から、一部調整。

⇒コロナ関連の質問から「10年後の生活について」の設問(全7問)に置き換え

◇令和4年度の特出項目

・コロナ影響における、1年前と現在との比較



◇令和5年度の特出項目

・今から10年後、どのような日常を過ごしているのかを想像し、心配や悩み事がないか

市民意識調査(16歳以上)の概要



対象者数:2,961名(発送対象3,000名、郵送戻り39名)
回答者数: 886名(回答率29.5%、うち郵送587名、インターネット299名)
調査期間:令和6年1月24日から2月14日(3週間)
調査方法:調査票を郵送し、紙もしくはオンラインフォームより回答
設問数 :44問

設問カテゴリ	設問内容(一部)※赤字R5新規項目	回答方法
基本情報	・性別、・年齢、・町名、・職業、・居住年数(通算)	選択式 ※一部記述
SDGs	・『SDGs』17の目標のうち取り組みたいもの	
物価高騰	・物価高騰の影響で、1年前と比べて現在の自身の家計(支出)がどの程度変化したか	
生活満足度	・自身の生活に満足しているか、・仕事・学業/自由に過ごせる時間/友人や近隣とのつきあいなどの満足度、・仕事/自由に過ごせる時間などの満足度を高めるために大切だと思うもの	
健康	・精神的/身体的に健康な状態か、・普段、健康のために行っていること	
居場所	・自宅、職場、学校以外で定期的に訪れる場所の有無、・その場所に訪れる頻度	
日野に対する意識	・日野が暮らしやすいところだと思うか、・日野のことが好きか、・日野の良いところ/良くないところ	
市政情報	・直近1年間の市政情報の入手手段(広報紙「広報ひの」/市HP/回覧板/市関連のSNS/日野市LINE公式アカウント)	
デジタル	・普段、情報通信機器/インターネット/SNSを利用しているか、・市の行政手続きで不便だと感じる事、・市の行政について、デジタルを活用して便利になれば良いと感じること	
10年後の生活について	・10年後の日常に関する心配・悩み事、・心配や悩みを相談する相手がいるか(地域福祉計画)	

集計結果概要(回答の傾向と市民満足度)



【基本属性の傾向】

(%)	女性	男性	その他	回答しない	無回答
R5年	56.3	42.6	0.1	0.3	0.7
R4年	51.4	47.0	0.2	0.9	0.5

- ・対象抽出の男女比調整による影響か、女性の回答率は対前年で増。男女比の傾向は変わらず。
- ・年代別バランスは大きく変わらないものの、30～50代での増加は、回答全体の50.9%が、核家族であることから、現役世代、とりわけ子育て世代の関心が伺える。(対前年+4.1%)

(%)	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	無回答
R5年	7.3	11.9	15.7	14.3	13.3	12.2	13.8	9.8	1.0	0.2	0.5
R4年	8.7	12.2	14.4	13.1	12.9	12.3	12.6	12.1	1.2	-	0.3

Q.今の自身の生活の満足度

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上	無回答
満足しているほう	53.85%	28.57%	33.81%	26.77%	21.19%	28.70%	34.43%	33.33%	22.22%	50.00%	25.00%
まあ満足しているほう	35.38%	46.67%	41.01%	44.88%	52.54%	42.59%	33.61%	39.08%	66.67%	0.00%	25.00%
どちらともいえない	6.15%	10.48%	10.07%	15.75%	15.25%	15.74%	12.30%	10.34%	0.00%	50.00%	0.00%
やや不満があるほう	1.54%	8.57%	8.63%	4.72%	5.08%	3.70%	4.92%	3.45%	0.00%	0.00%	0.00%
不満があるほう	1.54%	3.81%	5.04%	7.09%	5.08%	9.26%	9.84%	10.34%	0.00%	0.00%	25.00%
わからない	0.00%	0.95%	0.72%	0.79%	0.85%	0.00%	2.46%	2.30%	11.11%	0.00%	0.00%
無回答	1.54%	0.95%	0.72%	0.00%	0.00%	0.00%	2.46%	1.15%	0.00%	0.00%	25.00%

- ・「満足しているほう」、「まあ満足しているほう」と回答した割合は、対前年で+4.7%増の73.7%。
- ・一部40代～60代において、満足とは言えない漠然とした不安感が一定数ある傾向。

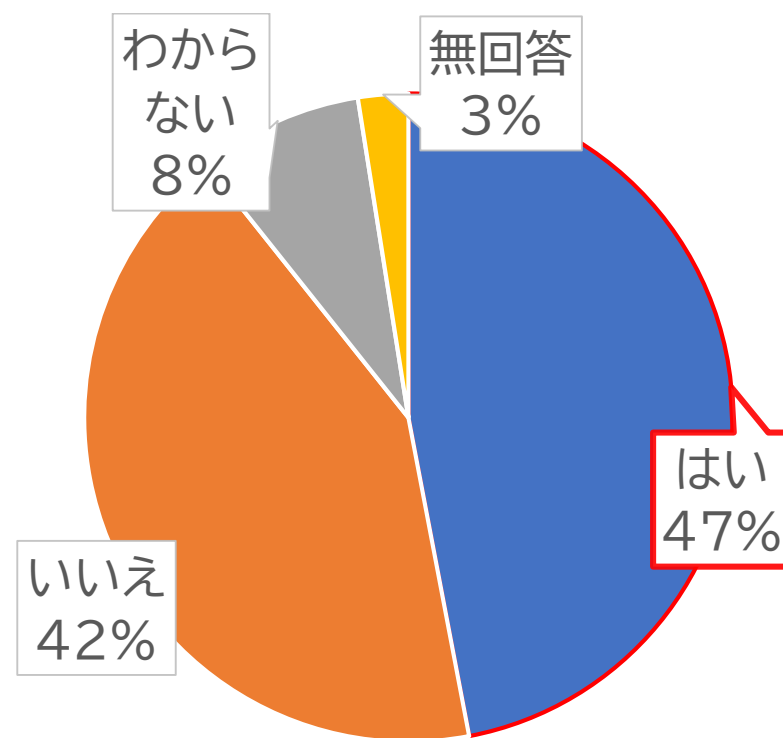
集計結果概要(SDGs①)・・・SDGsへの学び・取り組み・共有



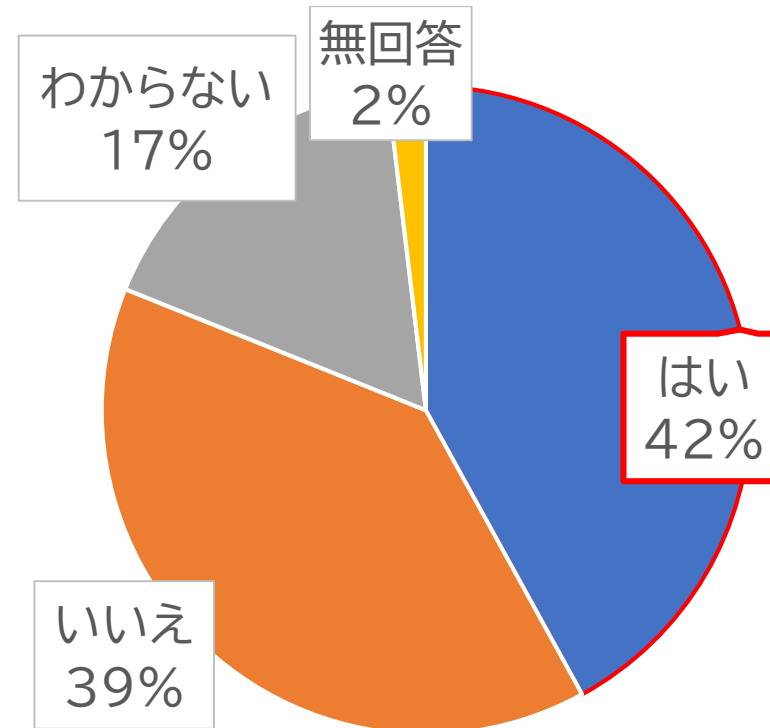
- ・昨年度調査にて、SDGsの認知向上を確認(全国調査では9割)。この結果を受け、令和5年度調査では、市民がSDGsに対して、どのような関わり方をして、どのような意識・思考を持っているかに焦点を当てた。
- ・学んだり、取り組んだりしたことがある比率は大きいものの、他者と話をする経験がない方が半数以上を占めた。

(%)

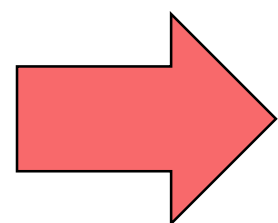
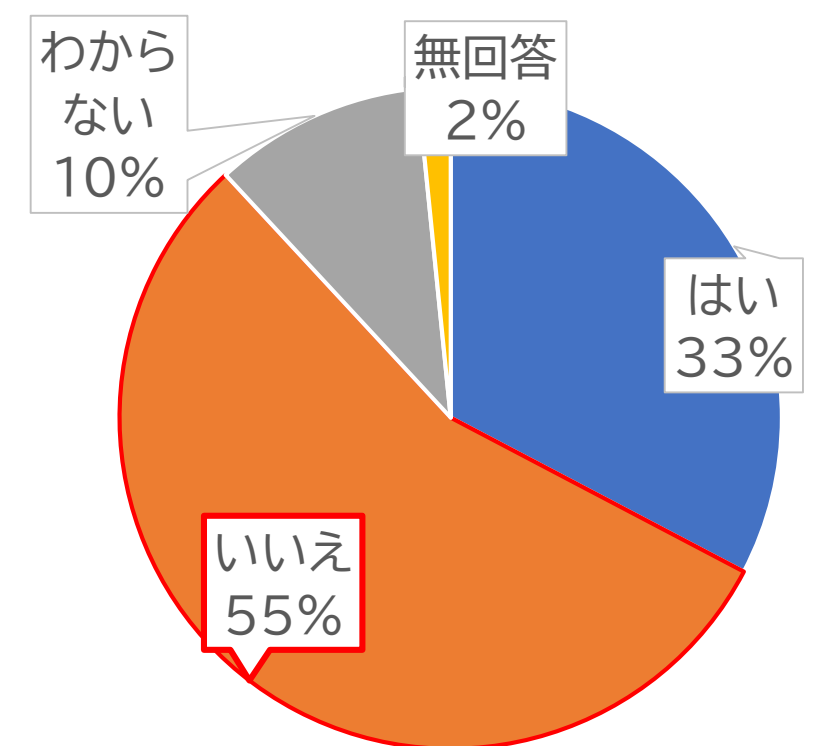
Q.『SDGs』について
調べたり学んだ経験



Q.『SDGs』に関する
取り組みの実施



Q.便利さや安さ、楽しさと環境・社会への
配慮を両立できる方法を誰かと
考えたり、話し合った経験



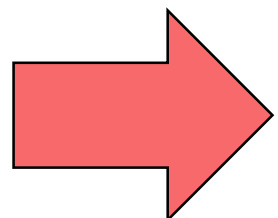
SDGsに関する知識や行動は増えるものの、共有の場ができることで、
より、SDGsが広がっていく



- ・関心の傾向としては、「すべての人に健康と福祉を」、「住み続けられるまちづくりを」といった、それぞれの生活に近い分野に集中。
- ・また、SDGsの取り組む意味に関する設問では、取り組み状況に関係なく、「他者や将来世代のために必要なことだと感じる」が一番多い傾向に。

Q.『SDGs』に関する取り組み・話し合いの特にあてはまる意味
(『SDGs』に関する取り組みを行っているかの回答別集計)

	(%)	はい	いいえ	その他
自分自身にとって気分がいい		2.5	1.0	0.5
金銭や評価など、具体的なメリットがある		1.9	0.9	0.6
所属するコミュニティや集団の方針、 ルールに沿っている		4.5	1.8	1.0
他者や将来世代のために必要なことだと感じる		29.0	15.2	7.0
その他		1.1	0.7	0.5
わからない		1.6	9.3	5.5
考えたことがない		1.2	9.8	3.0
無回答		0.1	0.3	0.9



SDGsが自分たちの身の回りや身近な生活に影響を与えることへの、
認識の深まり...

集計結果概要(物価高騰)・・・エネルギーへのアプローチは減少傾向に



- ・前年比較で、「水道・電気・ガスの使用量を減らす」が、-8.5%で大きく変化。昨年度に比べ、光熱費への意識は一旦落ち着いたととれる。
- ・一方増加傾向が、「より価格の低い商品を購入する」、「ポイントやクーポンなどを活用する」がそれぞれ6.0%ほど増。光熱費に比べ、コントロールのしやすい変動費部分へのアプローチが増えている傾向に。

Q.物価高騰を実感したことでのった行動(複数回答)

(%)	R4	R5	変動
できるだけ不要なものは買わない	70.6	69.4	-1.2
より価格の低い商品を購入する	45.6	51.5	5.9
水道・電気・ガスの使用量を減らす	43.3	34.8	-8.5
水道光熱費の契約事業者の見直し	9.0	10.1	1.1
外食を減らす	33.0	31.5	-1.5
趣味に使う金額を減らす	22.2	23.0	0.8
ポイントやクーポンなどを活用する	35.7	41.7	6.0
貯蓄や投資に回す金額を減らす	9.7	9.6	-0.1
その他	1.4	1.7	0.3
特に行動を変えていない	8.1	8.7	0.6
無回答	0.3	0.3	±0

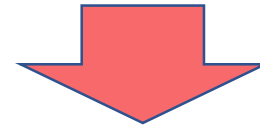
集計結果概要(デジタル)・・・スマホの普及率が、着実に増加



- ・10代、20代では100%に到達。
- ・50代以降も、対前年増加傾向。50,60代は、90%を超え、80代は、+9.39%と年代間での、普及の差が縮まっている。

Q.普段、情報通信機器を利用しているか(当てはまるもの全て)

令和4年度	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代以上	無回答
パソコン	38.96%	50.93%	59.06%	63.79%	53.51%	54.13%	43.24%	28.97%	18.18%	0.00%	33.33%
スマートフォンまたはタブレット	92.21%	96.30%	95.28%	98.28%	88.60%	85.32%	57.66%	30.84%	18.18%	0.00%	66.67%
スマートフォンを除く携帯電話等	1.30%	1.85%	0.79%	0.86%	3.51%	6.42%	13.51%	17.76%	27.27%	0.00%	0.00%
通信機器を持っていない	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.75%	3.67%	13.51%	30.84%	27.27%	0.00%	0.00%
無回答	5.19%	0.93%	0.79%	0.00%	0.88%	2.75%	7.21%	8.41%	18.18%	0.00%	33.33%



令和5年度	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代以上	無回答
パソコン	56.92%	66.67%	58.27%	55.91%	71.19%	51.85%	40.98%	36.78%	0.00%	0.00%	25.00%
スマートフォンまたはタブレット	100.00%	100.00%	96.40%	93.70%	95.76%	91.67%	64.75%	40.23%	22.22%	0.00%	0.00%
スマートフォンを除く携帯電話等	1.54%	0.95%	1.44%	3.15%	3.39%	3.70%	11.48%	19.54%	33.33%	0.00%	0.00%
通信機器を持っていない	0.00%	0.00%	0.00%	0.79%	0.85%	0.93%	11.48%	19.54%	22.22%	50.00%	50.00%
無回答	0.00%	0.00%	0.00%	0.79%	0.00%	1.85%	6.56%	9.20%	22.22%	50.00%	25.00%